

2006/6/27

日本ネティーズ株式会社

日本ネティーズと電通国際情報サービス、モスフードサービスより DWH
アプライアンスを受注
～劇的なパフォーマンス改善で不可能だった分析を可能に～

2006年6月27日 日本ネティーズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：ダグラス・エツツェル）と株式会社電通国際情報サービス（本社：東京都港区、代表取締役社長：瀧浪壽太郎、略称:ISID）は Netezza® Performance Server™（NPS™）を株式会社モスフードサービス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長CEO兼COO：櫻田 厚）より受注しました。

NPS はデータベース・ソフト（RDBMS）、サーバ、ストレージを統合した「データウェアハウス・アプライアンス」です。従来のデータウェアハウス・システムに比べ10～50倍のパフォーマンスを実現します。

ISID と日本ネティーズは昨年10月に発表された提携により、各業界の日本企業に対し、日本ネティーズのエンタープライズ級データウェアハウス・アプライアンスのマーケティングを共同で展開しています。

現在、モスフードサービスは全国の1,400以上の店舗より売上げ明細データを集めて分析を行っています。店舗、地域や時間帯で売り筋商品などの傾向を把握し、商品の品質や顧客サービスをさらに強化する目的です。

【モスフードサービス社におけるビジネス面での期待されるメリット】

- 分析レポートをリアルタイムで作成でき、商品開発、店舗計画、仕入れ計画などに対し迅速な意思決定を支援し、ビジネス価値を向上できる
- 現行システムでは限界があったジャーナル明細情報を長期間蓄積し、かつ明細情報に基づく様々な切り口での分析を高速かつ柔軟に実現できる
- 分析手法、PDCAサイクルの確立

【本システムの特徴】

- DB物理設計、インデックスによるチューニングが不要なため、ユーザ要件の変更・追加要求に対し、柔軟に対応できる
- 非定型分析を安定かつ高速に処理できるため、今までバッチ感覚で作成していた分析レポートをリアルタイムで作成できる
- 統合DBを構築し、分析の枠を広げる
- 分析処理時間の劇的な改善によって、思考を停止しないシステムを実現



【Netezza 社について】

Netezza 社（以下 Netezza）は、独自設計・高コストパフォーマンスの「データウェアハウス・アプライアンス」を提供している会社です。Netezza は従来のデータウェアハウス・システムに比べて、10～50 倍のパフォーマンスを半分のコストで実現します。現在、通信業界、金融業界、小売業、製薬業界、政府機関、その他の市場における大量のデータを扱う企業が Netezza Performance Server シリーズを活用しており、より速く、より高度な分析を行っています。Netezza は 2000 年に設立され、マサチューセッツ州フラミンガムに拠点を置き、ワシントン DC、UK、日本、アジア太平洋地域にオフィスを構えています。Web サイトは <http://www.netezza.jp/> となります。

【Netezza Performance Server について】

Netezza Performance Server (NPS) シリーズは、データベース、サーバ、ストレージを構造上単一の使いやすいシステムに統合したエンタープライズ級の「データウェアハウス・アプライアンス」です。NPS シリーズの高パフォーマンスと「アプライアンス」的な管理の簡易性により、前日のデータを当日に活用し、詳細データを生かした高度な分析を実現できます。Netezza は一般家電のように即時使用可能な構成で提供され、しかも既存の BI 環境と簡単に統合できます。NPS システムは、Ahold USA、Amazon.com、Cingular Wireless、Bank of America、CNET Networks、Epsilon、Neiman Marcus、Orange UK、Premier、Shoppers Drug Mart、The TJX Companies をはじめとする 65 社以上の企業で導入実績があります。

本リリースに関するお問い合わせは、以下にお願いします。

日本ネティーズ株式会社

担当：滝沢 理

TEL：03 4360 5424

Mail：salesinfojapan@netezza.com